

2024 年4月にお引き渡しをした
高浜市T 様から家づくりのお話を聞かせていただきました。

home introduction

姉夫婦がシンカさんで建てたという事もありますが、地元なので以前から会社自体は知っていました。
最初にみせてもらったお家の感じが良く、平屋が建てたいと思っていたので、おしゃれで自由度が高いシンカさんに最初からほぼ決めていました。
アイデアがとても豊富で、何より皆さんが親身になってくれるところが良かったですね。打合せも、今日はどんな事を決めるのかな?と楽しみながら床材やタイルなどを選ぶことができました。
間取りを悩んで迷っている時、納得するところまで付き合ってもらった事もとても感謝しています。メリットデメリットを具体的に教えてもらいながら自分の価値観で選択しているいろいろ決めることができて良かったです。みんなにすすめたいです!(笑)

シンプル、スマート、おしゃれで飽きがこない外観です。窓がないので外からパッと見てどんなお家かわからない所もいいですね。あとは何かをしながら目的地まで行ける動線の良さ。おかげで生活がしやすいです。タイルデッキや庭が見えるリビングの大きな窓も気に入ってます。
娘のお気に入りポイントは畳スペースで、よくステージにして歌を歌っています。家でゆっくりしたり、朝から庭の手入れで外に出るようになりましたね。すぐに庭に出られるので、外遊びが大好きな娘は気分転換にもなっています。
環境の変化などで娘の夜泣きなど心配していましたが、今までと変わらず普通に生活が来ています。お家を作っている過程と一緒に見てきたので、“じぶんのうち”と理解していたこともあるのかなと思います。



event info

どなたでもお気軽にご参加ください。
ご紹介もお待ちしております。

September
2025

※予定は変更する場合があります。あらかじめご了承ください。最新の情報は当社HP でご確認ください。



完全予約制

OPEN HOUSE オーナーズハウス見学会

●会場／高浜市論地町<10:00-18:00>
各回2組限定 ◎予約制

9.6 sat, 7 sun

土間キッチン

窓のないシンプルなファサードからは想像できない、開放的な中庭を内包する住まい。中のような外と、外のような中。どこにいても外部からの視線を気にすることなく過ごせる家族だけの空間を、実際に住まわれているお家で、是非ご体感ください。



ヌックのある家



完全予約制

OPEN HOUSE オーナーズハウス見学会

●会場／高浜市湯山町<10:00-18:00> 各回 2 組限定 ◎予約制

9.20 sat, 21 sun

39坪の立地に、小さな居場所を集めた住まいです。光が綺麗に入る居心地の良いリビング、外を見ながら作業できるロングスタディコーナー、ほっこりと癒されるヌック。パントリーや玄関収納、WIC など収納をしっかりと確保した無駄のない間取りです。実際に住まわれているお家で、是非ご体感ください。



完全予約制

SPECIAL EVENT 上矢田分譲地相談会

●会場／シンカ西尾支店・カーサ三河南
(西尾市矢曾根町赤地2-1)<10:00-18:00>
各回 1 組限定 ◎予約制

全17区画に区画整理された分譲地が販売中です。
1,090万円～(D区画:146.70㎡[44.37坪]) 駐車しやすい!
前面道路6m。公園、保育園まで徒歩6分!通勤、通学、お買い物に便利な好立地。大通りから一本入った閑静な住宅地。
気になる方はお早めにお問合せください。

お家のこと、イベントのこと、C-TANK新聞のこと、なんでもお気軽に聞いてください!

お問い合わせ先 **Tel.0566-52-0444**

"cinca"で検索! フォローしてね!



シンカの施工例を見るなら インスタグラム



もっとシンカを知りたいなら フェイスブック



イベント情報を見る、お得なサービスを受けるならシンカアプリ



お客様とシンカをつなぐコミュニケーションマガジン

C-TANK

シンカ・タンク

CINCA × News Letter

VOL. **230**

SEPTEMBER 2025



【CINCA NEWS】

- ・第13回感謝おもにつき大会 開催決定のお知らせ
- ・シンカの安心サポート通信 8月の相談事例の紹介
- ・連載 『感謝と線の物語』～顧問が描くパース 300枚の奇跡～
第3回：彩りに込めた思い

●CINCA●

CINCA NEWS



もちつき大会トリビア



今では恒例となったおもちつき大会。始まったのは2010年で、スタッフはハッピーを着てテントはこじんまりと1基のみ。当時はスタッフがおもちつきの知識がなく、近隣店舗のママさんに聞き何とか開催できたのを懐かしく思い出します。

第1回は来場者約180名。受付もなくスタッフが手で人数をカウントしていました。



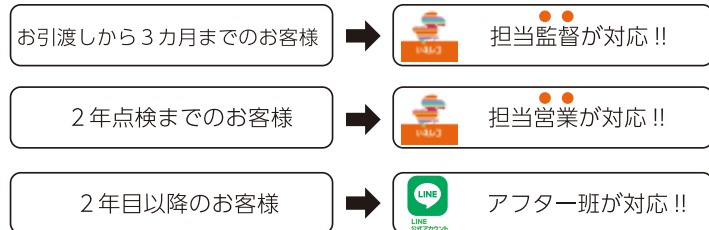
シンカの安心サポート通信

お家のお困りごと・点検の依頼・リフォーム相談etc 時々お得な情報も配信するシンカのLINE 公式アカウントを始めました。

おうちに住み始めてからのシンカの『安心サポート』は以下のとおりです。お引渡しから3カ月と2年点検までのお客様はイエレコを使い担当監督・営業が対応します。

それ以降のお客様はのLINE 公式アカウントからご連絡をお願いします。

流れ



まずは友だち追加を！



突然のお困りごとの強い味方！訪問ご希望日や気になることなど LINE 公式アカウントにメッセージをお送りください。

12月みんなでワイワイ! おもちつき大会 開催決定のお知らせ

恒例の「おもちつき大会」を、今年も12月に開催することが決まりました！日程は12月7日（日）、会場は CINCA Design Labo・(シンカ本社) です。

つきたてのお餅をその場で味わえるのはもちろん、小さなお子さまから大人まで楽しめる、あったかいイベントにしたいと思っています。

きなこやあんこを頬張る顔やゲームに夢中になる姿、スタッフや一進会さんとの楽しい会話は毎年盛り上がります。「うちの子がはじめて杵を持たよ!」なんてエピソードもたくさんいただいています。

また、会場ではおもち以外にも楽しんでいただける工夫を考えています。OB さんとの久しぶりの再会など、笑顔いっぱいの日になればと思っています。

只今、スタッフ全員で「もっと楽しんでいただける企画」を考え中です。詳しい内容は、次号(11月号)のC-TANK 新聞で改めてご案内します。どうぞ、楽しみにお待ちください！

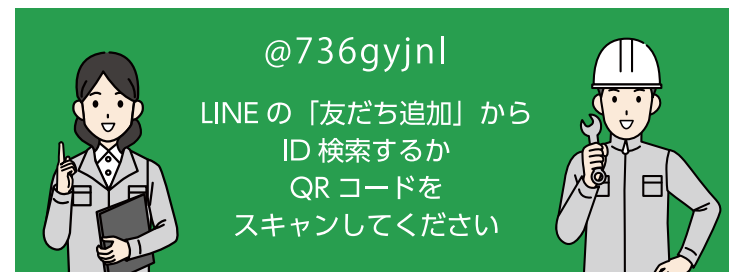
小さなお子さまが安心して遊べるようなちょっとした体験コーナーや、ご家族と一緒に参加できるお楽しみも盛り込む予定です。CINCA のイベントにご無沙汰しているOB さんもお待ちします！

ぜひ、ご家族そろって気軽に遊びにきてくださいね。お子さまの元気な笑顔と、ご家族みなさんとお会いできるのを楽しみにしています！

8月の相談事例：玄関手摺について

築20年以上のお施主様から、玄関の段差がきつくなってきたので、手摺を取り付けたいとのご相談。介護保険(介護予防)と市の住宅改修制度を使い、地域包括支援センターとも連携しながらリフォームの準備を行いました。

左側の写真は工事前、右側は完成予定写真となります。このようにリアルに完成後のイメージがわかるので、お施主様は「工事内容が分かり易くて安心!! 完成が楽しみです」とおっしゃられていました。



連載

感謝と線の物語

～顧問が描くパース300枚の奇跡～

第3回:彩りに込めた思い

『我が家の竣工画』。

数週間かけて描き上げた線画に、命が吹き込まれる瞬間がある。顧問が最も集中するのは、一発勝負の仕上げ＝「色付け」だ。

緻密な下準備

現場へ足を運び、構図を自らの目で確認する。基準線を決め、立体感を意識した濃淡を描き、さらにコピー機で白黒反転を行う。この段階だけで数週間が費やされる。下準備は決して派手ではないが、完成度を大きく左右する重要な工程だ。だからこそ顧問は、手を抜かず一つ一つの線に心を込める。積み重ねた準備が、後の彩色を引き立てるのである。

色付けは一気に進む

対照的に、色付けは一気に流れ込む。

顧問が色鉛筆を手にした瞬間、まるで堰を切ったように筆が走り、線画は鮮やかな世界へと変貌していく。周囲の雑音は消え、顧問は作品に没頭する。まるで美術学生のように、内に秘めた感情を紙面に叩きつけるような集中力だ。積み上げてきた下準備があるからこそ、色付けは一瞬にして作品を完成へと導くのである。

こだわりの道具と技法

顧問のこだわりは道具にも表れる。手元に並ぶのは120色の水彩色鉛筆。「以前は絵具を使っていたけれど、今はこれが一番しっくりくる」と話す。植栽は外構プランを取り寄せ、忠実に再現することを心掛ける。さらに遠近感を強調し、濃淡で立体感を表現。

しかし、水彩ならではの難しさもある。「乾くと色が思い通りにならない。これがいつまで経っても難しい」と、探求を続ける姿勢を崩さない。

OBさんから届いた喜びの声

あるイベントで顧問が再会したOB さんは、渡された完成パースを「月ごとに玄関やリビングに場所を変えて飾っている」と語ってくれた。

通常、パースは引渡し式で手渡されるため、顧問が直接感想を聞ける機会は少ない。思いがけず耳にした言葉に、顧問は「そこまで大切にしていただけで本当に嬉しい」と、照れくさそうに微笑んだ。その表情には、作品が人々の生活に寄り添っている実感がにじんでいた。

編集後記

編集長代理は今回で終わり・・・

実は私はC-TANK 新聞の初代編集長です。長く続くこの新聞を後輩に託し、陰ながら楽しみに読んでいましたが、その後輩が産休に入ることとなり、思いがけず「一時復帰」として1年間編集を担当することになりました。久しぶりに手掛ける編集作業は、昔の記憶を呼び覚ましつつ、新たな刺激も感じる時間でした。

学生時代の夢は「新聞記者」。記事をどう配置すれば読みやすいか、どんな切り口なら興味を持てただけなのか――。再びこの作業に向き合えたことは、とても幸せな時間でした。

この1年間は、単なる“代行”ではなく、初心に帰り、C-TANK 新聞が積み重ねてきたものを改めて感じる機会でもありました。そして何より、読者の皆さまがこの紙面を手に取り、楽しんでくださっていることが、何よりの励みになりました。

次号からは、育休を終えた編集長がまた紙面を彩ってくれます。どうぞこれからも、変わらぬご愛読をお願いいたします。1年間、本当にありがとうございました。

す



120色のカラーチャートを見ながら、色を確認↑



記念すべき「我が家の竣工画」第1号↑ H26(2014).9.15とサインがあった

線と彩りが暮らしを彩る

顧問の描くパースは、単なる建築の付属資料ではない。一枚一枚に時間と労力、そして思いが込められた作品だ。住まいと共に歩む人々の暮らしを彩り、日常に温もりを添える存在となっている。

